



回覧

令和2年 1月30日 No. 19

古賀市立古賀東中学校

校長 松本 修

生徒数 355名

	男子	女子	合計
1年	59	52	111
2年	75	57	132
3年	51	61	112

東風魂四訓 「あいさつ」「感謝の心」「時間厳守」「環境美化」

【古賀東中 Facebook】と【古賀東中PTCA Facebook】を公開中!!

1月11日(土)・12日(日)
男子バレーボール部 京王観光
バレーボールカップ4位で県大会へ!

1月11日(土)・12日(日) 京王観光バレーボールカップ 筑前地区大会で4位となり、県大会出場を果たしました。1日目に応援に行きましたが、出だしが今一つでした。バレーボールは集団競技ですから、個人の技能が繋がって得点になります。結果的には県大会出場はできましたが、元気なコミュニケーション(挨拶、指示、激励など)が見られませんでした。



2月8日(土)に県大会があります。東風魂の姿が輝くように、日頃から「東風魂」(準備)を実践してください。

1月12日(日) 吹奏楽部
「第53回フラスフェスティバル」で演奏

1月12日(日) 響け!復興のハーモニー(主催:福岡吹奏楽連盟)「第53回フラスフェスティバル in New Year」(チャリティーコンサート)がアクロス福岡シンフォニーホールで行われ、吹奏楽部が参加しました。この会場は、世界一流のフルオーケストラから室内楽、アマチュア発表会、コンクールまで幅広い演奏が楽しめる素晴らしいところです。子どもたちの演奏も日々進化しているように思います。今年も色々な人のために、演奏で楽しませてください。



1月24日(金)
2年生民泊体験学習(修学旅行)の報告会

1月24日(金) 2年生民泊体験学習(修学旅行)の報告会を、2年生、1年生、そして保護者に行いました。昨年までは各学級の班がポスターセッションで報告しました。



しかし、今回はまず、「いのち輝くまち こが2019」で発表したものを披露しました。そして、各学級の班がそれぞれ、ポスターセッションで保護者に報告しました。

またこの日、日本経済新聞(全国版) 編集部 伊藤仁士記者が来校され、民泊体験学習(修学旅行)の価値を発表や生の声を取材されました。1年生の皆さん、民泊体験学習(修学旅行)の良さは、伝わりましたか。今年の11月25日(水)~27日(金)が、修学旅行(鹿児島)の予定です。また、新たな出会いや交流を創ってきてください。

尚、新聞掲載は3月の予定です。

1月25日(土)
県中体連男子バレーボール大会

1月25日(土) 県中体連男子バレーボール新人大会(八幡東体育館)がありました。残念ながら1回戦で敗れました。しかし、収穫は元気なコミュニケーションが、前回よりも見られたことです。技術だけでなく、「日頃からの準備」の大切さを少しは学んだ大会であったと思います。



1月30日(木)
2年生「救急救命講習会」を実施

1月29日(火) 2年生保健の授業で、北部消防署員の方を講師に、「救急救命講習会」を実施しました。



日頃からいついかなる時にも危機がおきることを想定し、自分で出来ることを身につけておくことが大切です。その一つが、学校に設置しているAEDの活用です。心肺蘇生法講習を受講することにより、救命知識の習得、安全意識や危機対応能力の向上、また、いざという時心肺蘇生を実施し、「命を尊重する教育」を毎年2年生で実施しています。



北部消防署員の皆様、ありがとうございました。

2月行事(予定)

2日(日)	古賀市親善バレーボール大会
4日(火)	福岡地区私立前期合格発表
5日(水)	県公立高校推薦入試事前指導 PTCA運営委員会
6日(木)	県・公立高校推薦入試
8日(土)	私立後期入試
9日(日)	定期考査前部活動休止(~13日)
10日(火)	交通安全下校指導
13日(木)	県・公立推薦入試内定発表 全学年後期期末考査
14日(金)	1・2年生後期期末考査
18日(火)	3年生 性に関する学習会 (デートDV予防プログラム) 読み聞かせ(~26日)
20日(木)	オープンスクール (1・2年生 学年懇談会)
28日(金)	3年生卒業式練習スタート
29日(土)	PTCA花植・除草作業
※朝勉&朝弁	3・5・10・12・13・14・17・19・26
※定退日 (毎週:水)	3・12・19・27
※部休日 (毎週:水・日)	3・9・10・11・12・13・16・19・23・27

※裏面に続きます。

1月17日(金)

「第33回新入生説明会」を実施

1月17日(金) 来年度入学の説明会を実施しました。6年生や保護者の皆様には、約1時間の説明をしっかりと聴いて頂きありがとうございました。

私の基本理念は「一人一人の価値が輝く」です。そのために、教育の第一を「心(+感)を育てる」と考えています。昨今、私たちは「モノの豊かさ」に恵まれています。しかし、「心(利他)の豊かさ」はどうでしょうか。あまりにも利己による問題が多いような気がします。このままでは、これからの予測困難の時代(多様性の時代)に対応できません。そのために、利己(自分が)から利他(みんなが)の心が必要です。その一方策が「選択できる標準服(制服)」の実施です。現 PTCA の皆様のお力と現生徒会の意見を表した標準服です。

まだまだ「ワクワクするもの」が古賀東中学校には沢山あります。

入学する6年生の皆さん、最高の準備をして、4月9日(木)入学式には元気に登校してきてください



新年度から導入される標準服(右から5人)と従来の制服



古賀東中「標準服」導入へ

従来からの制服も認める 新年度から

古賀市立古賀東中学校(松本修校長、354人)は、新年度から選択制の標準服を導入する。17日に同校で行った入学説明会で披露した。メーカーと直接契約を結んでおり、被災して着られなくなった場合は、メーカーが無償で代替の標準服を提供する。標準服の上は灰色のジャケットで、下は紺色の長ズボン、半ズボン、スカート、キョロットの4種類から選択する。性的少数者(LGBT)への配慮などの観点から、

詰め襟やセーラー服など性別で規定された制服を男女共用のプレーヤーに転換する動きは、全国的に広がっている。大半の学校では移行期間を経て、全生徒がプレーヤーを着るようになっている。しかし、古賀東中は従来の制服着用も認める。生徒の好みを尊重するほか、兄弟や卒業生の制服を再利用する選択肢を残すことで、家計の負担軽減につながる狙いがある。外国籍の生徒が民族衣装で通学することも認める。また、従来は制服販売店と契約を結んでいたが、今回の標準服導入を機に、メーカーとの直接契約に切り替えた。これにより、価格を抑えられるほか、水害で流失したり火災で焼けたりの場合はメーカーが替わりの標準服を用意することになった。

説明会では、在校生が制服と標準服を着用して登場し、新入学予定者と保護者に紹介した。松本校長は、LGBTだけでなく、国籍、家庭環境、家計状況、障害などあらゆる面の多様性に対応できる学校になるためには、選択肢を増やしていく必要があるとしたうえで、「標準服をきっかけに、生徒には自ら考え、選択し、多様性を受け入れる大切さを学んでほしい」と話している。

令和2年1月17日(土)
読売新聞朝刊



3年生に物申す！！

私立専願等入試が終わり、明日から私立一般入試、県公立推薦入試・一般入試などが始まります。ここで一言物申したいことがあります。自分の進路が決定したことは嬉しい、喜ばしいことです。しかし、これは一時的なものです。決まった人もこれからの人も、あなたたちのゴールにはまだまだ到達していません。私もまだまだです。

だから、ゴールに繋がる次の目標に向けて努力し続ける3年生であって欲しいと思います。「日本一温かい学校づくり」は継続中です。君たちはできる人と信頼しています。

<皆さんと一緒に東中へ入学した校長より>